

# 宮崎民医連 奨学生会議 〈てのひら会〉



宮崎大学医学部に所属している奨学生は、毎月1回（第3月曜日）奨学生会議（てのひら会）を開催しています。会議には1年生～6年生までの学生が参加し、多いときは10名以上の学生が参加します。また、宮崎生協病院からも医師や看護師など職員も一緒に参加します。会議はまず近況報告から始まります。ここでは大

学で学習中の事や試験の状況、実習の内容からプライベートなことまで、自分の1か月に起こった出来事を報告します。「将来はこんな勉強をするのか!」「将来のためにこれをやればいいのか!」「それ面白そうだな、今度休みの時にやってみよう」など自由な空間ですが、学生同士の結束を高めるためにはなくてはならない時間となっています。

その後は学習企画を行います。テーマは月によって替わりますが、「学生主体の会議」を基本としているので、会議の進行や何を深く学んでいくかについては、学生と意見交換を行ってから決めます。

実際に昨年の11月に行われた奨学生会議の学習の様子を見ていきましょう。

今回のテーマは『医師のプロフェッショナリズム』。10月に行われた「九州沖縄医学生をつどいin長崎」で学習した内容を参加学生が報告し、企画の中で行われたもやもやする事例に対して、自分が医師ならどのように対応するか意見交換を行い、実際に働いている医師や他スタッフの意見をもとに、自分の考える医師のプロフェッショナリズムを考えました。

●実際に話し合った例があるのであなたならどうするか、ぜひ考えてみてください。



【例】あなたは500床規模の病院の勤務医です。原則、患者の臨終には主治医が立ち会うが、しばしば当直医に依頼しています。先日、担当で病棟のスタッフから人気のあった患者の臨終に立ち会えず看護師から「ちょっと冷たいんじゃないですか」と言われました。後日、3連休で家族旅行に出かけた初日の夜に病棟から電話が入りました。かかりつけの担当患者が重症肺炎で来院し、連休明けまでは持たないため、当直医から「明日からよろしくお願いしますね」との連絡があった。あなたなら病院に 戻りますか？ 戻りませんか？



このように奨学生会議（てのひら会）では大学生活だけでは学べないもの、自分を高めてくれる仲間など多くのものを得ることが出来る貴重な時間です。



# 薬学生田 Plaza of Pharmacy student 広場

薬学生向け企画案内・報告

是非、実習・見学に来てみて下さい!



宮崎生協病院の薬剤科には、現在薬剤師3名・薬局助手1名のスタッフがいます。

病院薬剤師は、主に入院患者の処方された調剤・服薬指導などを行います。

また、チーム活動にも参加します。がん化学療法・感染対策チーム・緩和ケアチームなど当院には多くのチームで薬剤師が活躍しています。



「アンサンジンデレラ 病院薬剤師 葵みどり」荒井ママレ（医療原案：富野浩充）

学生さんの中には、病院薬剤師ってどんな仕事をしているの?と思われる方もいるかもしれませんが。入院患者に接する機会が多いため、目立たないという側面はあります。

そんな中、私が密かに(いや、大いに)期待しているのが、日本史上初の「病院薬剤師」主役のドラマ「アンサンジンデレラ」です。(20年4月放送予定。) これは同じタイトルのマンガがドラマ化されたものです。正義感が強く、でも少し突っ走ってしまうような「薬剤師の女の子」が主人公です。

病院薬剤師が認知されるきっかけになれば、願ったり叶ったりです。楽しみにしています。

## 春休みインターンシップのご案内

春休み期間中に、インターンシップ（病院実習・見学）に参加しませんか？

病院薬剤師の仕事内容説明・調剤服薬指導などの業務見学・院内見学など多数、経験できます。

対象 薬学生(1年生～5年生)

期間 春休み(3月)

※日程は、下記のお問い合わせ先)に、お気軽にご相談ください。

## 薬学奨学生募集

〈奨学金制度の概要〉

支給額 月額10万円

支給期間 奨学生の決定から卒業まで

※返済免除の規定

奨学金の受給期間(1年未満は1年に繰り上げ)と同一期間、宮崎医療生協の院所に勤務した者は、奨学金の返済義務を免除する。

〈奨学生制度の目的〉

卒業後、宮崎医療生協に参加する意志を持った薬学生の皆さんに、勉学の経済的な援助を行うため。

お問い合わせ先  
お気軽にお問合せください。  
宮崎生協病院 薬剤科 大田原 TEL 0985-24-6877